

# 主体的・対話的な学びをつくる国際理解教育

大都市に行くと、コンビニエンスストアでは外国人店員が増えていた数年前。気が付くと、沖縄の那覇、浦添を中心でも同じような現象が見られます。沖縄の人口増の4割、2.5名に1人が外国人というデータがあります。それにとまなう外国籍の児童・生徒の増加により学校や地域での共生が求められています。

私たちの身の回りに増えている外国人と共に、多文化共生のテーマを学び、教材を作成してみませんか？沖縄の多文化共生に興味ある皆さまのお越しをお待ちしています！

テーマ：  
『沖縄の多文化共生の  
教材をつくろう！』

内容（予定）：1日目  
神奈川県における多文化共  
生の取り組み。  
ワークショップ体験



2日目：沖縄の多文化共生  
を考えよう！

外国人ゲストもお招きし一緒に沖  
縄の多文化共生を知る教材を作成  
し、持ち帰ろう



講師  
風巻 浩氏

NPO地球対話ラボ監事  
かながわ開発教育センター理事

1980年より神奈川県で県立高校の  
教師を務める。2013年から聖心女子  
大学非常勤講師としても勤務。

ポイント：多民族・多文化マイノリティ  
の子どもたちとの関わりを長くおこ  
なってきた神奈川県の市民・教員の  
活動に学びながら、多文化共生の教  
材を作っていきます。



著書：「社会科アク  
ティブ・ラーニングへ  
の挑戦」（明石書店刊  
2016年）

■日時：

2018年2月24日（土） 10:00～16:00

2月25日（日） 10:00～16:00

（2日間連続講座）

■場所：JICA沖縄国際センター ■定員：30名 ■参加費：無料



沖縄県

■主催：JICA沖縄国際センター  
■後援：沖縄県教育委員会  
■事務局：NPO法人沖縄NGOセンター

宜野湾市宜野湾3-23-52

TEL：098-892-4758 Email：onc@oki-ngo.org

# ■ □募集要項 □ ■

## ■ 参加条件

- ① 過去に国際理解・開発教育指導者養成講座を受講された方や教育現場にて国際理解・開発教育もしくは関連活動を実践されている方。
- ② 2日間参加いただくことが原則です。（離島の方はご相談ください。）

## ■ 定員：30名

■ 会場：JICA沖縄国際センター 住所：浦添市前田1143-1（駐車場：無料）

## ■ 参加費：無料

- ・交通費、食費、宿泊費は自己負担
- ・昼食はJICA沖縄食堂もご利用になれます。

## ■ 応募方法

- ・NPO法人沖縄NGOセンターのホームページより応募用紙をダウンロード、必要事項を記入し提出下さい。HP：<http://www.oki-ngo.org/>
- ・FAX：応募用紙に必要事項を記入し、沖縄NGOセンターまで送付ください。

## ■ 学生ボランティア募集：

教職を目指している方、国際問題や協力活動に関心のある学生さん、ボランティアとして関わってみませんか？！プログラムによっては講座・ワークショップ自体に参加可能なものもあります。下記お問い合わせ先までご連絡下さい。

\*\*\*\*\*キリトリ\*\*\*\*\*

2017年度国際理解・開発教育指導者養成講座 中・上級編

申込〆切：2月9日（金）

必要事項へ☑を入れて下さい。

**応募用紙**

FAX：098-892-9908

ふりがな 氏名	
所属先（学校名・団体名） *教員の方は、担当教科の記入もお願いします。	TEL： FAX：
連絡先（個人） *Emailに連絡する場合がございます。 2、3日以内で連絡が取れるアドレスをご記入ください。	TEL： Email：
本講座の参加実績	国際理解・開発教育指導者養成講座へのこれまでの参加 □はじめて □過去に参加（過去参加回数 □回）
参加の動機	
どこでこの情報を知りましたか？	□チラシ □ホームページ □Facebook □メールリスト □新聞 □友人・知人 □初級編の講座の中で □その他（ ）

※ご記入いただいた個人情報は適正な管理・利用と保護に万全を尽くします。これらの情報は本講座の連絡、名簿作成の他、今後JICA沖縄、NPO法人沖縄NGOセンターからの国際理解教育・開発教育セミナーの情報の送付に利用させていただきます。